

9. カリキュラムマップ

コース	科目区分	ナンバリング	科目名称	到達目標	配当年次	【知識・理解】 とほをとほとして世界と関わり、広く社会に貢献するための知識と教養をもち、それを伝えることができる。	【技能】 文章表現の技術を身につけ、コミュニケーション・スキルを修得し、社会の人々と協働して行動することができる。	【思考・判断・表現】 文学・文化・英語・人間心理に精通し、自分に相応しい社会的テーマを見つけ出し、追求する問題意識を持ち、表現することができる。	【関心・意欲・態度】 社会的リーダーシップを有し、まわりの人々への思いやりをもった配慮と想像力を兼ね備え、自律した市民としての学習意欲を身につけている。
リテラシー基礎		AIVa1-1	文章表現法	<ul style="list-style-type: none"> 論文等の文章を読んでその文章の主題や構成をきちんと把握出来るようになる。(知識・理解) 自分の意見や考えを他者に正確に伝えるための基本的な知識や技術をきちんと習得し、実践できるようになる。(技能) レポート等の文章で自分の意見を述べていくための、問題意識、構成力、表現力等をきちんと習得し、実践できるようになる。(判断・思考・表現) 	1		◎	○	
		AIVa1-2	コミュニケーション論	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの理論についての基礎的な知識がきちんと身につくようになる。(知識・理解) より豊かなコミュニケーションを図るための基本的な知識や技術がきちんと身につくようになる。(技能) 他者とコミュニケーションするための積極的な姿勢をとれるようになる。(関心・意欲・態度) 	1		◎	○	
		AIVa1-3	伝える技術	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや意見を簡潔に整理する事がきちんとできるようになる。(知識・理解) 自分の考えや意見を他人に伝える為のより効果的で効率的な伝達の基礎的な技術をきちんと習得し、実践できるようになる。(判断・思考・表現) プレゼンテーションの基礎的な技術をきちんと身につけることができる。(技能) 	1		◎	○	○
文科 共通科目	カルチャー	AIVb2-4	伝統文化論	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文化の多様なジャンルを学ぶことで、日本の伝統文化についての一定の知識を語る事が出来るようになる。(知識・理解) 日本の伝統文化についての話題で外国の人と交流出来るようになる。(関心・意欲・態度) 	1	◎		○	
		AIVb2-5	地域文化論	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容を深く理解し、授業で取り上げた地域の文化について一定の知識を身につけられるようになる。(知識・理解) 自分たちとは異なる地域文化もしくは異文化について積極的に理解する姿勢を身につけられるようになる。(関心・意欲・態度) 	1	◎		○	
		AIVb2-6	こども文化論	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの文化というものについて考える手がかりを得ることが出来るようになる。(関心・意欲・態度) 子ども文化の一例としての児童文学の成り立ちについて、明治の古典的作品から現代の作品まで広く対象にしながらかかりと理解を深めることが出来るようになる。(知識・理解) 児童文学を学ぶことを通して、子どもがどのような状況におかれていたのか、家族のあり方はどのような状況にかかわっていたのかを合わせて深く理解出来るようになる。(知識・理解) 児童文学が、子どもをめぐる状況を映し出す鏡であることを実感出来るようになる。(思考・判断・表現) 	1	◎		○	
		AIVb2-7	ジェンダー論	<ul style="list-style-type: none"> 生物学的性差に対して社会的性差を指すジェンダーが、いかに文化的に作り上げられているのかをしっかりと問い直すことができるようになる。(関心・意欲・態度) それとあわせて、一人の人間として、セクシャル・アイデンティティを葆ちながらどう生きていったらいいかの考えをしっかりと深めることができるようになる。(思考・判断・表現) 	1	◎		○	
		AIVb2-8	映像メディア論	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメンタリーやコメディ、CM、アニメなどの様々な映像メディアの見方、利用のスキルをしっかりと習得できるようになる。(知識・理解) 映像メディアの情報に対する問題点やそれについての考え方をしっかりと身につけられるようになる。(思考・判断・表現) 	1	◎		○	
		AIVb2-9	出版メディア論	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容を深く理解し、出版文化についての一定の知識をしっかりと習得できるようになる。(知識・理解) 本に関わる文化に積極的な関心をいざくことができるようになる。(関心・意欲・態度) 	1	◎		○	
		AIVb2-10	環境文化論	<ul style="list-style-type: none"> 人間が、環境としての自然を文化としてどのようにとらえ、またどうつきあってきたのかについての多くの知見を得ることが出来るようになる。(知識・理解) 神話、文学、祭祀等に環境としての自然がどのように描かれあるいは扱われているのかについての多くの知識を有することができるようになる。(知識・理解) 	1	◎		○	
		AIVb2-11	からだ健康	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なからだの機能を理解し、心身の健康を守り管理していくために何が必要かを考え、具体的に説明することができる。(知識・理解) 女性特有の健康問題について理解し、健康状態の維持 増進、疾病予防の改善策について考察し説明することができる。(知識・理解)(思考・表現) 健康に関する正しい知識の習得を図り、ヒトを取り巻く健康問題について多面的に関心を持ち、考察することができる。(知識・理解)(思考) 基本的な応急手当について理解し、技術を習得できる。(知識)(技能) 自分自身の生活習慣について分析・考察し、どのように改善すべきかを理解し具体的に述べる事が出来る。(知識・理解)(思考・判断・表現) 	1	◎		○	○
		AIVb2-12	東京学	<ul style="list-style-type: none"> 講義の内容を十分に理解し、選択した「名所江戸百景」の名所について、江戸の当時から現在までの変遷を十分に調査するとともに、説明することができる。(知識・理解・表現) 	1	◎		○	

文科

コース	科目区分	ナンバリング	科目名称	到達目標	配当 年次	【知識・理解】 こばをとおして 界と関り、広く 社会に貢献する ための知識と教 養をもち、それ を伝えることが できる。	【技能】文章表現 の技術を身につ け、コミュニケ ーション・スキル を修得し、社会 の人々と協働し て行動することが できる。	【思考・判断・表 現】文学・文化・ 英語・人間心理に 適し、自分に相 応しい社会的テ マを見つけ出し 、追求する問題 意識を持ち、表 現することができる。	【関心・意欲・態 度】社会的リテ ラシーとリーダー シップを有し、ま わりの人々への 思いやりをもった 配慮と想像力を 兼ね兼ね、自律 した市民としての 学習意欲を身に つけている。
文科 共通科目	キャリア サポート	AMc2-13	観光英語を学ぶI	・海外旅行に必要な英語表現を身につけ、英語で的確にコミュニケーションを取ることができる。 ・空港、交通、ホテル、観光、ショッピング等の場面で英語を正確に解釈できる。 ・観光英語検定の取得に必要な、旅行・観光の分野における英語の運用能力（英語での接客、外国人への道案内、英語によるパンフレット類の説明を含む）を的確に使用できる。	1	◎	○		
		AMc2-14	観光英語を学ぶII	・海外旅行に必要な英語表現を身につけ、英語で的確にコミュニケーションを取ることができる。 ・空港、交通、ホテル、観光、ショッピング等の場面で英語を正確に解釈できる。 ・観光英語検定の取得に必要な、旅行・観光の分野における英語の運用能力（英語での接客、外国人への道案内、英語によるパンフレット類の説明を含む）を的確に使用できる。	1	◎	○		
		AMc2-15	漢字を学ぶ	・基本的な漢字が書けるようになり、漢字能力を高めることができるようになる。（技能） ・漢字の歴史、文化的背景や日本における漢字の受容などについての総合的な知識を身につけることができるようになる。（知識・理解）	1	○	◎		
		AMc2-16	秘書実務を学ぶI	・一人の大人として自立して生きる自分のキャリアについてのデザインがしっかりと出来るようになる。（思考・判断・表現） ・仕事や家庭生活で自分がどのように働き、またどのような家庭生活を作っていくのかについてしっかりと考えられるようになる。（関心・意欲・態度） ・秘書実務についての検定試験に必要な知識を十分に習得出来るようになる。（知識・理解）	1			◎	◎
		AMc2-17	秘書実務を学ぶII	・授業に自ら進んで主体的に参加し、他の学生と協力しあって「ワーク」をすすめる事が出来るようになる。（関心・意欲・態度） ・社会人としてあるいは職業者としての基本的なマナーや知識を習得出来るようになる。（知識・理解） ・秘書検定2級程度の知識を得ることが出来るようになる。（知識・理解）	1			◎	◎
		AMc2-18	キャリアデザイン演習	・卒業後の進路について、具体的な将来像を思い描くことができるようになる。（思考・判断・表現） ・将来像の実現に向けて必要とされる知識やスキル、特に就職活動に必要な知識やスキルを十分に身につけていく。（技能） ・自己理解やコミュニケーションの力を十分に身につけていく。（関心・意欲・態度）	1			◎	◎
日本文学・ 表現 コース	リテラシー	AIa1-1	ことばの仕組みI	・授業を通して、ことばが伝達されるためのことばの仕組みについて基本的な仕組みや規則についてしっかりと理解出来るようになる。（知識・理解） ・ことばの仕組みについての積極的な関心を持つことができるようになる。（関心・意欲・態度）	1	◎	○		
		AIa2-2	ことばの仕組みII	・ある出来事を伝達する手段としてのことばについての役割やその組み立て方について基本的な知識を有することができるようになる。（知識・理解） ・また、その基本的なことばの役割や仕組みについて、現代日本語の具体例を通して理解出来るようになる。（知識・理解） ・言葉の仕組みや現代日本語について積極的な関心を持つことができるようになる。（関心・意欲・態度）	1	◎	○		
		AIa1-3	現代のことばI	・言語学に必要な観点を習得し、様々な観点で自分が使っている日本語と他人が使っている日本語を比較する態度を身につけることができる。（関心・意欲・態度） ・ことばをことばで説明することの難しさや楽しさを味わうことができるようになる。（知識・理解）	1	◎	○		
		AIa2-4	現代のことばII	・現代の日本語の文法を学ぶための基本的な考え方をしっかりと理解出来るようになる。（知識・理解） ・基本的な文法の知識をしっかりと有している。（知識・理解） ・言語にとっての文法の意味についてしっかりと理解出来るようになる。（思考・判断・表現）	1	◎	○		
		AIb1-5	古典文学の歴史	・授業で扱う分野における日本文学の歴史について詳しく説明出来る知識を獲得出来ている。（知識・理解） ・文学作品の生まれる歴史的な背景について深く分析する力が身につけている。（知識・理解） ・歴史的な背景を踏まえて文学作品を多角的に分析する力が身につけている。（知識・理解）	1	◎			
		AIb1-6	近代文学の歴史	・授業で扱う分野における日本文学の歴史について詳しく説明出来る知識を獲得出来ている。（知識・理解） ・文学作品の生まれる歴史的な背景について深く分析する力が身につけている。（知識・理解） ・歴史的な背景を踏まえて文学作品を多角的に分析する力が身につけている。（知識・理解）	1	◎			
		AIb2-7	古典文学を読むI	・古典の原文に触れて、そのことばと内容を深く理解し、現代の小説を読むようにより楽しんで読めるようになる。（知識・理解） ・話の筋や展開だけでなく、歴史的な時代の習俗や風俗を学ぶことで、普遍に思える現代の価値観や生活観が、時代と共に変化するものだとより深く理解出来るようになる。（知識・理解） ・文学としての古典作品が時代を超えた人間の普遍的な姿を描いていることを深く理解出来るようになる。（知識・理解）	1	◎		○	

コース	科目区分	ナンバリング	科目名称	到達目標	配当 年次	【知識・理解】 こ世社とばをとおして 界と関り、広く 会に貢献するた の知識と教養を ち、それを伝え ることができる。	【技能】 文章表現の技 術を身につけ 、コミュニケー ション・スキル を修得し、社会 の人々と協働し て行動すること ができる。	【思考・判断・表 現】 文学・文化・英 語・人間心理に 適し、自分に相 応しい社会的テ ーマを見つけ出 し、追求する問 題意識を持ち、 表現すること ができる。	【関心・意欲・態 度】 社会的リテラ シーとリーダー シップを有し、 まわりの人々へ の思いやりをも った配慮と想像 力を兼ねせな え、自律した市 民としての学習 意欲を身につ けている。
日本文学・ 表現 コース	リテラチャー	AI b2-8	古典文学を読むⅡ	・古典の原文に触れて、そのことばと内容を深く理解できるようになる。(知識・理解) ・古典作品をより深く楽しんで読めるようになる。(知識・理解) ・作品の筋や展開だけでなく、その作品を生み出した「時代」を知り、時代の習俗や風俗を学ぶことで、古典作品をより深く多角的に理解出来るようになる。(知識・理解) ・古典作品を通して現代の価値観や生活観を振り返りそこから変化するものや変わらないものを具体的に理解できるようになる。(知識・理解)	1	◎		○	
		AI b2-9	近代現代文学を読むⅠ	・日本の近代文学を味読するための基礎力を身につけることができるようになる。(知識・教養) ・また、日本の近代文学についての基礎的教養をやしなうことができるようになる。(知識・教養) ・文学を楽しむことをとおして、自分を見つめ直す力を育み、さらに日本人の感性についての理解を深めることができるようになる。(知識・教養)	1	◎		○	
		AI b2-10	近代現代文学を読むⅡ	・日本の近代文学を味読するための基礎力を身につけることができるようになる。(知識・教養) ・また、日本の近代文学についての基礎的教養をやしなうことができるようになる。(知識・教養) ・文学を楽しむことをとおして、自分を見つめ直す力を育み、さらに日本人の感性についての理解を深めることができるようになる。(知識・教養)	1	◎		○	
		AI b3-11	古典文学の研究Ⅰ	・古典の原文に触れて、そのことばと内容を深く理解できるようになる。(知識・理解) ・和歌のことばや題材、詠みぶりといった韻文特有のことば ・表現に詳しい知識を有することができるようになる。(知識・理解) ・自分なりのテーマで和歌を使っての表現ができるようになる。その際、受講者全員の前で映像や音を用いて効果的な発表ができるようになる。	2	◎		○	
		AI b3-12	古典文学の研究Ⅱ	・古典の原文に触れて、そのことばと内容を深く理解できるようになる。(知識・理解) ・説話特有の文脈展開がわかり、物語や随筆など他の文体を持つ文学との差異を理解できるようになる。 ・当時の地図や絵画、また日記や文書といった史料が、文学の理解の上で不可欠であることを具体的に知るようになる。(知識・理解)	2	◎		○	
		AI b3-13	近代現代文学の研究Ⅰ	・日本の近代文学を味読するための応用力を身につけることができるようになる。(知識・教養) ・また、日本の近代文学についての教養を深めることができるようになる。(知識・教養) ・文学作品を読むことをとおして自分を見つめ直し、感性を磨くと同時に言語能力を高めることができるようになる。(知識・教養) ・自らすすんで文学に関わろうとする問題意識も養うことができるようになる。(知識・教養)	2	◎		○	
		AI b3-14	近代現代文学の研究Ⅱ	・日本の近代文学を味読するための応用力を身につけることができるようになる。(知識・教養) ・また、日本の近代文学についての教養を深めることができるようになる。(知識・教養) ・文学作品を読むことをとおして自分を見つめ直し、感性を磨くと同時に言語能力を高めることができるようになる。(知識・教養) ・自らすすんで文学に関わろうとする問題意識も養うことができるようになる。(知識・教養)	2	◎		○	
	クリエイト	AI c2-15	文学創作演習	・創作の準備としていくつもの小説(短編)や文章を読み込む力がしっかりと身につけている。(知識・理解) ・作品を実際に書く力がしっかりと身につくようになっていく。(技能) ・作品を創作する創造性や文章力を身につけることができる。(思考・判断・表現)	1	○	◎	○	
		AI c3-16	児童文学	・数々の優れた児童文学作品を読み、作品を様々な切り口で分析する力をしっかりと習得することができるようになる。(知識・理解) ・日常生活の中の材料から童話作品をきちんと創作することができるようになる。(判断・思考・表現) ・想像力、創造力、文章力をおおいに高めることができるようになる。(判断・思考・表現)	1	○		○	
		AI c3-17	映画・演劇論	・映画と演劇に関する基本的な知識をしっかりと習得できている。(知識・理解) ・映画と演劇の社会的文化的背景にも目を向けながら作品を批評的に読む力をきちんと身につけることができる。(知識・理解) ・自らの意見を説得的に表現できる力をしっかりと身につけることができる。(判断・思考・表現)	1	○		◎	
		AI c3-18	サブカルチャー論	・中心と周縁が曖昧化している今日の、メイン・カルチャーから隔たったサブ・カルチャーの意義について深い理解を有している。(知識・理解) ・サブ・カルチャーの持つ文化的エネルギーについて深い理解を有している。(知識・理解) ・カウンター・カルチャーの成果を通して日本文化を特質を批評的に捉え直し、グローバルな魅力を理解する優れた能力を身につけることができる。(知識・理解)	1	○		◎	

コース	科目区分	ナンバリング	科目名称	到達目標	配当年次	【知識・理解】	【技能】	【思考・判断・表現】	【関心・意欲・態度】
日本文学・表現コース	クリエイティブ	A I c3-19	アニメの物語学	・抽象的な「物語」について多様な角度から考察し定義することができる。(思考・判断・表現) ・グリム童話からディズニーアニメまでの流れを時代背景などを踏まえて的確に説明できる。(知識・理解) ・戦後の日本のアニメを時代のかかりや物語性の観点からの確に説明できる。(知識・理解) ・宮崎駿の作品について、物語性や時代性、文化や思想という観点から要点を的確に説明できる。(知識・理解) ・物語という観点からアニメ作品について深く論じることができる。(思考・判断・表現)	1	○		◎	
				A I d2-20	文学とことばのセミナー	・文学やことばについて、研究すべき自分のテーマを明確に見つけ出すことができるようになる。(思考・判断・表現) ・文学やことばについてより深い知識を身につけることができる。(知識・理解) ・自分のテーマについて説得力ある意見を述べ、また他人の発表について積極的に意見を述べる事ができるようになる。(関心・意欲・態度) ・レポートの書き方がしっかりと身についている。(技能)	1	◎	○
	A I d4-21	文学とことばの卒業セミナー	・自分の研究テーマや、創作の課題について明確なビジョンを持つことができるようになる。(思考・判断・表現) ・長文のレポートや創作のための文章力を身につけることができるようになる。(技能) ・優れたレポートあるいは個性的な創作を完成させる力を修得できるようになる。(技能)	2	◎	◎	◎	◎	
	英語コース	4 Skills	A I I a1-1	Reading I	・スキミング、トピックセンテンスの発見、パラグラフ構成の理解、予測・推論などの技術を的確に活用して英文を読み理解することができる。(技能)(知識・理解) ・高度な内容の英文読解に必要な語彙を身につけ、使用できる。(知識・理解)(思考・判断・表現)	1	○	◎	
A I I a1-2			Writing I	・英文法の知識を十分に身につけ、単文レベルの英作文が正確にできる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現) ・平易な内容の英作文に必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。(知識・理解)(思考・判断・表現)	1		○	◎	
A I I a1-3			Listening I	・日常会話レベルの英語を聞いて、内容を正確に解釈できる。(知識・理解)(思考・判断・表現) ・平易な内容の英語の聞き取りに必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。(知識・理解)	1	○	◎		
A I I a1-4			Oral English I	・日常会話レベルの内容を英語で正確に表現できる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現) ・日常会話レベルの英語の運用に必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現)	1		○	◎	
A I I a2-5			Reading II	・スキミング、トピックセンテンスの発見、パラグラフ構成の理解、予測・推論などの技術を的確に活用して英文を読み理解することができる。(技能)(知識・理解) ・高度な内容の英文読解に必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。(知識・理解)(思考・判断・表現)	1	○	◎		
A I I a2-6			Writing II	・英文法の知識を十分に身につけ、パラグラフを構成しながら英文で正確に表現できる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現) ・高度な内容の英作文に必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。(知識・理解)(思考・判断・表現)	1		◎	○	
A I I a2-7			Listening II	・アナウンスやスピーチやニュース原稿などの英語を聞いて、内容を正確に解釈できる。(知識・理解)(思考・判断・表現) ・アナウンスやスピーチやニュース原稿などの英語の聞き取りに必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。(知識・理解)	1	○	◎		
A I I a2-8			Oral English II	・スピーチなどのまとまった量の情報を英語で正確に表現できる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現) ・英語でまとまった量の情報を発信する際に必要な語彙を十分に身につけ、使用できる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現)	1	○	◎		
A I I a3-9			English for Special Purposes A I	・歌詞の内容を正確に解釈できる。(知識・理解) ・授業で学んだ英語表現を的確に使用できる。(技能)(思考・判断・表現)	2	◎	○		
A I I a3-10			English for Special Purposes B I	・英語の日常表現を正確に解釈できる。(知識・理解) ・ナチュラルスピードの英語を正確に聞き取ることができる。(知識・理解) ・日常に関することを自然な英語で的確に表現できる。(技能)(思考・判断・表現)	2	◎	○		
A I I a3-11			English for Special Purposes C I	・ビジネスの場面でよく使用される表現や、ビジネスレターやEメールの書式を十分に理解して身につけている。(知識・理解) ・英語のビジネス文書を的確に解釈できる。(知識・理解) ・英語のビジネス文書を的確に作成できる。(思考・判断・表現)	2	○	◎		
A I I a3-12			English for Special Purposes D I	・ホスピタリティー・ビジネスで必要とされる英語の語彙や口語表現を的確に使用できる。(技能)(思考・判断・表現) ・日本と英語圏の文化を比較し、違いを的確に述べるができる。(知識・理解)(思考・判断・表現)	2	○	◎		

コース	科目区分	ナンバリング	科目名称	到達目標	配当 年次	【知識・理解】 とばをとおして 界と関り、広く 会に貢献するた めに知識と教養 をもち、それを 伝えることができ る。	【技術】文章表現 の技術を身につ け、コミュニケーション スキルを修得し、社会 の人々と協働して行 動することができる。	【思考・判断・表 現】文学・文化・ 英語・人間心理に 適し、自分に相 応しい社会的テ ーマを見つけ出し、追 求する問題意識を 持ち、表現するこ とができる。	【関心・意欲・態 度】社会的リテ ラシーとリーダー シップを有し、ま わりの人々への思 いやりをもった配 慮と想像力を兼ね せぬ、自律した 市民としての学習 意欲を身につけて いる。
英語 コース	4 Skills	A II a3-13	English for Special Purposes A II	・歌詞の内容を正確に解釈できる。(知識・理解) ・授業で学んだ英語表現を会話の場面で的確に使用できる。(技能)(思考・表現)	2	◎	○		
		A II a3-14	English for Special Purposes B II	・英語の日常表現を正確に解釈できる。(知識・理解) ・ナチュラルスピードの英語を正確に聞き取ることができる。(知識・理解) ・日常に関する内容を自然な英語で的確に表現できる。(技能)(思考・表現)	2	◎	○		
		A II a3-15	English for Special Purposes C II	・ビジネスの場面でよく使用される表現や、ビジネスレターやEメールの書式を十分に理解して身につけている。(知識・理解) ・英語のビジネス文書を的確に解釈できる。(知識・理解)・英語のビジネス文書を的確に作成できる。(思考・判断・表現)	2	○	◎		
		A II a3-16	English for Special Purposes D II	・ホスピタリティー・ビジネスで必要とされる英語の語彙や口語表現を的確に使用できる。(技能)(思考・判断・表現) ・日本と英語圏の文化を比較し、違いを的確に述べることができる。(知識・理解)(思考・判断・表現)	2	○	◎		
	Language & Literature	A II b1-17	英文法	英文法の重要項目の内容を十分に理解し、正確に使用できる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現)	1	◎	○		
		A II b1-18	英語音声学	・英語の個々の音声の特徴を理解し、発音を正確に行うことができる。(知識・理解)(技能) ・英語のイントネーションやリズムを理解し、句や文の発音を正確に行うことができる。(知識・理解)(技能) ・発音記号を正確に読める。(知識・理解)	1	○	◎		
		A II b2-19	英語学概論	・英語学の全体像を十分に把握できる。(知識・理解) ・英語という言語を科学的に分析し、深く理解できる。(思考・判断・表現) ・社会と言語の関係、国際社会における英語の役割について考えを十分に深めることができる。(関心・意欲・態度)	1	◎	○		○
		A II b2-20	英米文学概論	・英文学史、米文学史の流れを十分に理解できる。(知識・理解) ・文学作品を読み解き、研究するための基礎知識について具体的に述べることができる。(知識・理解) ・特定の作家および作品について十分に調査し、的確な分析・考察ができる。(思考・判断・表現)	1	◎		○	
		A II b3-21	英語学演習	・英語の様々な時制表現の違いについて正確に説明できる。(知識・理解)(思考・判断・表現) ・英語の様々な時制表現を的確に使用できる。(技能)(思考・判断・表現)	2	○	◎		
		A II b3-22	英米文学演習	・英語で書かれた文学作品を正確に読解し、的確な分析・考察ができる。(思考・判断・表現) ・文学作品に描かれている人間や社会の様々な側面について深く洞察し十分に理解できる。(知識・理解)	2	◎		○	
		A II b3-23	英語学研究	・英語の定冠詞と不定冠詞、冠詞の有無、可算名詞と不可算名詞、動名詞と不定詞、仮定法と直説法、などの違いを具体的に述べることができる。(知識・理解)(思考・判断・表現) ・英語の定冠詞と不定冠詞、冠詞の有無、可算名詞と不可算名詞、動名詞と不定詞、仮定法と直説法、などを正確に使用できる。(技能)(思考・判断・表現)	2	○	◎		
		A II b3-24	英米文学研究	・英語で書かれた特定の文学作品について詳しく説明できる。(知識・理解) ・英語で書かれた文学作品を正確に読解し、作品に描かれている人間や社会の様々な側面について深く洞察し十分に理解できる。(思考・判断・表現)	2	◎		○	○
		A II c1-25	TOEIC演習 I	TOEIC受験に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術を十分に身につけ、500点以上の取得を目指すことができる。(知識・理解)	1	○	◎		
		A II c3-26	TOEIC演習 II	TOEIC受験に必要な語彙、文法の知識、リーディング、リスニングの技術を十分に身につけ、600点以上の取得を目指すことができるようになる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現)	2	○	◎		
	Business Skills	A II c2-27	News English I	・英字新聞の英語を正確に解釈できる。(知識・理解) ・ニュース番組の英語を聞き取り、内容を具体的に述べることができる。(知識・理解)(思考・判断・表現) ・政治や経済の専門用語を的確に説明できる。(思考・判断・表現)	1	◎		○	
		A II c2-28	News English II	・英字新聞の英語を正確に解釈できる。(知識・理解) ・ニュース番組の英語を聞き取り、内容を具体的に述べることができる。(知識・理解)(思考・判断・表現) ・政治や経済の専門用語を的確に説明できる。(思考・判断・表現)	1	◎		○	
		A II c2-29	Business English I	・ビジネスの場面でよく使用される基本的表現や、英文レターやEメールの書式を十分に理解して身につけている。(知識・理解) ・英語のビジネス文書を的確に解釈できる。(知識・理解) ・英語のビジネス文書を的確に作成できる。(思考・判断・表現)	1	○	◎		

コース	科目区分	ナンバリング	科目名称	到達目標	配当年次	【知識・理解】	【技能】	【思考・判断・表現】	【関心・意欲・態度】
英語コース	Business Skills	A II c2-30	Business English II	・ビジネスの場面でよく使用される基本的表現や、英文レターやEメールの書式を十分に理解して身につけている。(知識・理解) ・英語のビジネス文書を的確に解釈できる。(知識・理解) ・英語のビジネス文書を的確に作成できる。(思考・判断・表現)	1	○	◎		
		A II c2-31	通訳法 I	・通訳の基礎を十分に理解し、基礎訓練方法を身につけ、簡単な逐次通訳ができる。(技能)(思考・判断・表現) ・身近な事柄、日本文化・社会、国際問題等のテーマなどに関する語彙を十分に身につけている。(知識・理解) ・通訳者として必要な英語力及び表現力を十分に身につけている。(技能)(思考・判断・表現)	1	○	◎		
		A II c2-32	通訳法 II	・通訳技術訓練方法に熟練し、通訳法の内容よりも高度な逐次通訳が的確にできる。(技能)(思考・判断・表現) ・身近な事柄、日本文化・社会、国際問題等のテーマなどに関して、通訳法の内容よりも高度な知識と語彙を十分に身につけている。(知識・理解) ・通訳法の内容よりも高度な英語力及び表現力を十分に身につけている。(技能)(思考・判断・表現)	1	○	◎		
		A II c2-33	翻訳法 I	・英文翻訳に必要な読解力が十分に身につけている。(知識・理解) ・英文翻訳に必要な表現力が十分に身につけている。(思考・判断・表現) ・平易な内容の英文の翻訳が的確にできる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現)	1	○	◎		
		A II c2-34	翻訳法 II	・翻訳法よりも高度な英文翻訳に必要な読解力が十分に身につけている。(知識・理解) ・翻訳法よりも高度な英文翻訳に必要な表現力が十分に身につけている。(思考・判断・表現) ・翻訳法よりも高度な内容の英文の翻訳が的確にできる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現)	1	○	◎		
	卒業セミナー	A II d4-35	卒業セミナー	・担当教員が指定するテーマ(英語学・英米文学・国際関係・異文化コミュニケーション)について主体的に調べ、問題点を具体的に述べることができる。(知識・理解)(技能)(思考・判断・表現) ・自分が選んだテーマについて調べた結果を、的確に系統立てて表現することができる。(思考・判断・表現)	2	◎	○	○	○
心理学コース	自分を知る	A III a1-1	自己開発トレーニング	・複数の心理学測定法について、特徴をふまえた説明ができる。(知識・理解) ・パーソナリティの分析手法を多面的に説明できる。(理解) ・自分のパーソナリティを客観的に分析できる。(思考・判断・表現) ・自分を学ぶ学習を通じて、自分のパーソナリティについて関心をもつようになったことを明確に表現できる。(関心・意欲・態度) ・自分のパーソナリティを複数の心理テストで測定できる。(技能)	1	○	◎		
		A III b1-2	心理学概論	・実験や調査等の手法を用いて人間の行動を説明しようとする心理学の考え方を系統立てて説明できる。(知識・理解) ・現代社会の問題と心理学の関連性を指摘し、心理学のアプローチを用いて説明できる。(思考・判断・表現) ・自らの行動を心理学的な観点から主体的に分析できる。(技能) ・他者理解及び自己理解の心理学的知識をふまえて、他者を尊重して関わるができる。(関心・意欲・態度)	1	◎	○		
	心理学の基礎を学ぶ	A III b1-3	心理データ解析演習 (SPSS)	・実証的な研究の進め方について理解し、尺度水準や質的データと量的データ、独立変数と従属変数などの違いについて説明できる。(知識・理解) ・統計ソフトウェア (SPSS) を用いたデータの入力および目的に沿った適切な分析を行うことができる。(技能) ・心理調査を行う際の倫理的配慮の必要性について知り、心理調査の目的に沿った適切な調査を実施し、得られた結果をもとに論理的な考察を行い、適切な表やグラフを並び、わかりやすいレポートを作成する。(思考・判断・表現)	1	○	◎		
		A III b2-4	発達心理学 I	・幼児期、児童期の発達に関する認知的、情動的、社会的要因のすべてを説明できる。(知識・理解) ・現代の社会的相互作用における課題を自ら同定し、発達理論の観点から解釈できる。(思考・判断・表現)	1	◎	○		
		A III b2-5	発達心理学 II	・青年期、成人期、老年期の発達に関する認知的、情動的、社会的要因のすべてを説明できる。(知識・理解) ・現代の社会的相互作用における課題を自ら同定し、発達理論の観点から解釈できる。(思考・判断・表現)	1	◎	○		
		A III b2-6	社会心理学	・社会心理学における「社会」の概念を、複数の具体例を挙げて説明できる。(知識・理解) ・社会の中の対人関係や集団活動は外部刺激(他の人、環境)から様々な影響を受けている。その時に人間がどう行動、態度を取るのかについて、実際の事例と関連づけて考察できる。(思考・判断・表現)	1	◎	○		
		A III b2-7	臨床心理学 I	・実例や理論や自己洞察により、臨床心理学の基礎について説明できるようになる。(知識・理解) ・心理テストなどで自己について洞察し、表現できるようになる。(思考・判断・表現) ・精神疾患への初歩的な対応ができるようになる。(技能) ・精神疾患への対応にある程度の関心をもって関われる。(関心・意欲・態度)	1	◎	○		

コース	科目区分	ナンバリング	科目名称	到達目標	配当 年次	【知識・理解】 とばをとおして 界と関り、広く 社会に貢献する ための知識と教 養をもち、それ を伝えることが できる。	【技能】文章表現 の技術を身につ け、コミュニケーション・ スキルを修得し、社会 の人々と協働して 行動することができる。	【思考・判断・表 現】文学・文化・ 英語・人間心理に 適し、自分に相 応しい社会的テー マを見つけ出し、追 求する問題意識を 持ち、表現するこ とができる。	【関心・意欲・態 度】社会的リテラ シーとリーダー・ シップを有し、ま わりの人々への思 いやりをもった配 慮と想像力を兼ね せぬ、自律した 市民としての学習 意欲を身につけて いる。
心理学の 基礎を学ぶ	心理学 コース	AⅢb2-8	臨床心理学Ⅱ	・実例や理論や自己洞察により、臨床心理学の応用について説明できるようになる。(知識・理解) ・心理テストなどで自己についてより深く洞察し、詳しく表現できるようになる。(思考・判断・表現) ・精神疾患への対応がかなりできるようになる。(技能) ・精神疾患への対応に大きな関心をもって関われる(関心・意欲・態度)	1	◎	○		
		AⅢb2-9	健康心理学	・人間の健康が身体・精神の両面から支えられていることを、健康心理学の概念を用いて考察できる。(思考・判断・表現) ・健康の維持や病気の予防へのアプローチについて系統立てて説明できる。(知識・理解)	1	◎		○	
		AⅢb2-10	カウンセリング論	・他人の悩みに対してアドバイスができるようになる。(技能) ・他人の話を深く傾聴できるようになる(関心・意欲・態度) ・ロールプレイによって、相手の気持ちや解釈できるようになる。(知識・理解) ・自分のストレスを適切に表現できるようになり、カウンセリングへの洞察ができるようになる。(思考・判断・表現)	1		○		◎
		AⅢb2-11	教育心理学	・教育心理学の知識や研究方法を系統立てて説明できる。(知識・理解) ・教育心理学の知見を利用して教育の諸問題を自ら同定し、考察できる。(思考・判断・表現)	1	◎		○	
		AⅢb2-12	認知心理学	・認知心理学の基礎的な知見を幅広く身につけ、説明できるようになる。(知識・理解) ・授業で学んだことを日常生活と結びつけて説明できるようになる。(思考・判断・表現) ・日常生活の出来事について認知心理学的な関心をもてるようになる。(関心・意欲・態度) ・認知心理学的なトピックスについて、調べることができるようになる。(技能)	1	◎		○	
		AⅢc3-13	コミュニケーション心理	・コミュニケーションに関する心理学の知見や研究方法を系統立てて説明できる。(知識・理解) ・心理学の知見を、主体的に豊かなコミュニケーションの実践に役立てることができるようになる。(思考・判断・表現)	2	◎		○	
	AⅢc3-14	こころと行動	・特に心身についての臨床心理学的な技法のメカニズムを説明できるようになる。(知識・理解) ・フォーカシング、マインドフルネス、自律訓練法などの方法を使えるようになる。(技能) ・心身の観点から自分のストレスについて深く考えることができるようになる。(思考・判断・表現) ・ストレス耐性を高められるようになる。(関心・意欲・態度)	2		○		◎	
	AⅢc3-15	性格とは何か	・複数のパーソナリティ理論を比較し、その違いをふまえて各理論の特徴を説明できる。(知識・理解) ・パーソナリティの形成過程を、遺伝的・社会的要因の影響をふまえて考察できる。(思考・判断・表現)	2	◎		○		
	AⅢc3-16	消費者の心理	・企業活動(商品、サービスの提供)と消費者心理とが密接に関連していることを理解し、消費者の心理がよりよい社会を実現するために必須であり、女性の消費者心理がよい企業を育て、よい社会をつくるということを説明できる。(知識・理解) ・企業が消費者心理に基づいて提供しているサービスや商品を知り、社会動向の分析を行い、顧客視点に立った商品やサービスを提案、発表することができる。(思考・判断・表現) ・消費行動や企業活動についての知識をベースに、顧客視点の商品サービスを提案する。(関心・意欲・態度)	1	◎		○		
	AⅢc3-17	アートと心理	・アートセラピーの解釈の仕方を説明できるようになる。(知識・理解) ・アートセラピーの考え方を利用して、自己洞察を深められるようになる。(思考・判断・表現) ・アートを芸術療法の観点から解釈できるようになる。(技能) ・アートセラピーを通じて自分の感性を磨くことができるようになる。(関心・意欲・態度)	1		○		◎	
	AⅢc3-18	音楽とこころ	自分の音楽経験と聴く姿勢を見つめ直し、これまで知らなかった音や音楽の世界への耳を開くことによって、聴く行為が、「私」というものの形成にどのように関わっているかについて主体的に考えられるようになる。(思考・判断・表現)	1	○		◎		
	AⅢc3-19	文学に見る行動心理	・心理学が文学に与えた影響を具体例と関連づけて説明できる。(知識・理解) ・心理学のキーワードを使って心理学の歴史的背景をふまえた作品分析ができる。(知識・理解)	1	◎		○		
ゼミナール・ 卒業論文	AⅢd4-20	心理学卒業演習	・自分でテーマを見つけて卒業論文を完成させることができる。(関心・意欲・態度) ・論文の書き方、テーマの見つけ方、文献の探し方等の基本的な論文作成の技術をすべて習得し、卒業論文を作成することができる。(技能) ・客観的な心理学的分析の考え方を説明できると同時に論文作成に応用できる。(知識・理解) ・自分が決めたテーマについて心理学的な考察ができる。(思考・判断・表現)	2	○	○	◎	○	